

全国鉱山保安週間を迎えて

—災害抑制の創意工夫と今年度の無災害の継続のお願い—

経済産業省

九州産業保安監督部長 坂元 耕三

関係各位の多大なるご指導とご協力をもって、今年も『鉱山保安週間』を迎えられることに厚く御礼申し上げます。

この保安週間は、自主保安活動を主体的に推進し、保安意識や管理体制の更なる形成を図り、鉱山に関する事故防止や鉱害の抑制を目的に、毎年7月1日から7日までの期間と定めています。九州産業保安監督部は、この保安週間を契機に各種の取組みを行います。例えば、本稿による関係者への呼びかけに加え、既に募集した保安標語166作品の中から特選1作品、入選4作品を選考し、ポスターやホームページなどで広く紹介します。また、各地の鉱山を積極的にお伺いし、標語入賞者の方々への表彰、保安講話の開催、職場の方々との安全に対する意見交換などを行います。コロナ感染期を乗り越えての直接のコミュニケーションの好機であります。鉱山関係者の忌憚のないお話しを伺うことを楽しみにしております。

また、今年度から『第14次鉱業労働災害防止計画』がスタートしました。九州管内の目標は、計画期間中の5年間で、死亡0名、重傷者4名以下、罹災者計5名以下です。昨年度は鉱山災害5件で、罹災者1名（軽傷）でしたが、今年度は6月末時点で災害ゼロの状態が継続しています。保安週間を契機に、原点に戻って基本を再確認いただき、自主保安活動の更なる定着、リスクマネジメントの徹底、発生頻度の高い災害を意識した防止

対策の推進、地震・台風などの自然災害への備えなどを万全にしていいただき、災害抑制の創意工夫と今年度の無災害の継続をお願いします。

さて私自身、管外の鉱山を含め多くの鉱山関係者から様々なご示唆と気付きをいただきました。広範囲な産業のサプライチェーンの最も源流に位置する鉱山は、安定した原料供給の維持は絶対的な使命であり、それを果たすには安心安全な体制構築は必須条件だと痛感させられました。こういった観点からも災害抑制の取組みは必要です。是非ともこの機会に、企業・事業所・グループなどの単位で、日常作業の一斉点検、非定常作業の再確認、知識・経験の共有や意見交換を行うなどして、保安対策の徹底や保安意識の高揚など実効性のある取組みをお願いします。併せて、経営層によるリーダーシップ発揮の基、現場の声を尊重しつつ、緩むことのない安全活動をお願いします。

一致団結したムダ・ムリ・ムラのない安全活動の徹底により、災害のない明るい職場が、引いては健やかで活力のある生活が保たれますよう祈念します。ご安全に！